

蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児

関連文化講演会

令和7年4月22日から東京国立博物館ではじまる特別展「蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児」に関連する文化講演会をNHKと共催で行います。

大河ドラマ「べらぼう〜蔦重栄華乃夢噺〜」(NHK)とも連携した本展の見どころをご紹介します。

江戸時代の傑出した出版業者である蔦重こと蔦屋重三郎(1750~97)は喜多川歌麿や東洲斎写楽といった現代では世界的芸術家とみなされる浮世絵師を世に出したことで知られています。

本展では江戸の町の様相と蔦重の活動をつぶさにみつめながら、天明、寛政(1781~1801)期を中心に江戸の多彩な文化をご覧いただくとともに、彼が創り出した価値観や芸術性がいかなるものであったかを体感いただきます。

日時

令和7年5月2日(金)

午後6時5分開演

(午後6時10分開場、午後8時30分終演予定)

会場

日本橋社会教育会館 8Fホール
中央区日本橋人形町1-1-17

対象

区内在住・在勤者

むら せ かな

東京国立博物館

講師

村瀬 可奈氏

学芸研究部調査研究課
絵画・彫刻室研究員

演題

蔦屋重三郎と江戸の浮世絵
〜特別展「蔦屋重三郎 コンテンツ
ビジネスの風雲児」の見どころ〜

定員

200名(自由席) ※申込多数の場合は抽選

参加費

無料

主催

中央区文化・国際交流振興協会/NHK

申込方法

4月15日(火)(必着)までに、往復はがきに
必要事項をご記入の上、お申し込みください。
※詳細は裏面参照

講演会受講者には、本特別展の招待券を一人1枚
差し上げます。

申込・問合せ先 中央区文化・国際交流振興協会
〒104-0041 中央区新富1-13-24 新富分庁舎3階
電話: 03 (3297) 0251



【会期】令和7年4月22日(火)~6月15日(日)

【開館時間】午前9時30分~午後5時

※毎週金・土曜日、5月4日(日・祝)、5日(月・祝)は
午後8時まで開館

※入館は閉館の30分前まで

【休館日】月曜日、5月7日(水)

※ただし、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館

【会場】東京国立博物館 平成館

【主催】東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション

詳細は展覧会公式サイトをご覧ください

<https://tsutaju2025.jp/>



申込方法 往復はがき記入要領・記入例

返信用(おもて)に、あなたの〒・住所・氏名を書き、返信用(うら)には何も書かないでください。往信用(うら)に次の①～⑥をお書きください。

- ① 蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児 ② 氏名・ふりがな ③ 〒・住所 ④ 電話番号 ⑤ 年齢
⑥ 在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号

※申込みは、往復はがき1枚につき、お一人となります。料金不足の往復はがきは返却します。

また、申込み要件不備・重複申込み・必着日を過ぎた申し込みは無効となります。

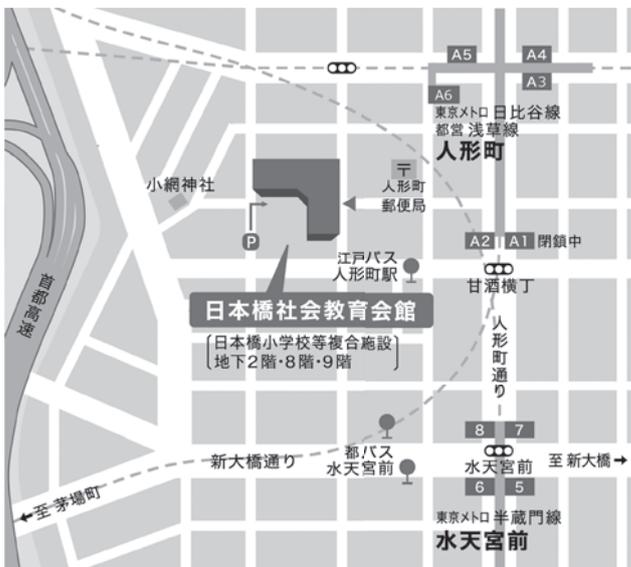
※車いすや歩行器等使用されている方はその旨も記載してください。

介助者についても別途申し込みが必要です。

往信用(おもて)	返信用(うら)
<p>郵便往復はがき</p> <p>85</p> <p>104-0041</p> <p>中央区新富1-13-24 新富分庁舎3階</p> <p>中央区文化・国際交流振興協会 行</p> <p>往信</p>	<p>この面には何も書かないでください。</p>
返信用(おもて)	往信用(うら)
<p>郵便往復はがき</p> <p>85</p> <p>あなたの郵便番号</p> <p>あなたの氏名宛</p> <p>あなたの住所</p>	<p>① 蔦屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児</p> <p>② 氏名・ふりがな</p> <p>③ 〒・住所</p> <p>④ 電話番号(携帯など、日中の連絡先)</p> <p>⑤ 年齢</p> <p>⑥ 在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号をご記入ください。</p>

申し込み期限 令和7年4月15日(必着)

※郵便事情を考慮して、はがきの投函は早めをお願いします。



日本橋社会教育会館 アクセス

- 地下鉄**
- 人形町 徒歩約4分
都営浅草線(A6)・東京メトロ日比谷線(A2)
 - 水天宮前 徒歩約5分
東京メトロ半蔵門線(8番出口)
- 都バス**
- 水天宮前 徒歩約5分
- 江戸バス(コミュニティバス)**
- 人形町駅 徒歩約2分

